



子どもたちから感謝の言葉をいただきました

毎年この時期に、市内にある愛耕幼稚園は日頃の感謝の気持ちを伝えるために市内の事業所に花を届けていらっしゃる、6月14日(火)には当所にお越しいただきました。

元気いっぱい「いつもありがとうございます。」と挨拶をいただいた後、職員にはきれいなお花と素敵なメッセージカードをプレゼントしていただきました。

たくさんの元気な子供たちとのふれ合いや、園児の皆さんから感謝の言葉をいただき、職員も心ななせるとともに、これからの健やかな成長を共に願うひとときとなりました。



第2回気仙沼圏域介護人材確保協議会が開催されました

平成 28 年 7 月 7 日 (木)、当事務所において、気仙沼圏域介護人材確保協議会が開催されました。

この協議会は介護人材不足が深刻な当圏域において、官民一体となって介護人材の確保に取り組むため、今年 1 月に設立されたものです。

第 2 回目の開催となった今回は、構成員である介護施設管理者の方々、ハローワーク、気仙沼市、南三陸町、当事務所などの関係者により、新規就労者の確保や離職防止の対策について協議しました。

今回の協議会では、参加者の方々からどのような取組を行っているか報告があった後、人材確保に向け、実務者レベルによるワーキンググループを組織したうえで、その手法を検討し、人材確保に取り組んでいくこととなりました。



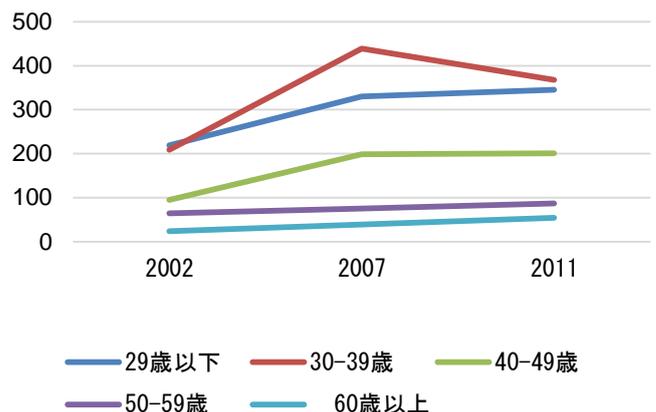
エイズ発症を防ぐには早期発見・早期治療が肝心！！



近年、日本でも性的接触による感染者が 20 代から 40 代を中心に広がってきています。HIV (ヒト免疫不全ウイルス) に感染すると、数年間自覚症状のない期間を経て、免疫力が下がり、様々な疾病にかかりやすくなるエイズという病気を発症します。今は HIV に感染していても薬を飲めば、発病を抑えることが可能になっています。自分や大切な人の健康を守るためにも早期発見・早期治療が大切です。

気仙沼保健所では、毎月第 2、4 水曜日(午後 1 時～午後 3 時)に HIV 検査の他、クラミジア、梅毒、肝炎についても匿名で検査を行っています。事前予約制ですので、検査の週の月曜日正午までにお電話にてお問い合わせください。 疾病対策班 ☎0226-22-6662

H I V 感染者報告数の年齢別年次推移



この人に聞きたい!

宮城県気仙沼保健福祉事務所

技術次長 田代 光美

このコーナーでは、管内の保健福祉や環境衛生関係の活動・業務に取り組む方からお話をお聞きます。

4月に栗原保健所より異動して参りました。震災から5年がたち、落ち着きを取り戻しつつも復興はまだ道半ば、地域の方の生活が安心して健やかなものになるよう努めて参りたいと思っております。よろしくお願ひします。



5月22日から1週間熊本地震の応援に行ってきました。宮城県は熊本市近郊で『ちょうどいい田舎』がキャッチフレーズの上益城地区を管轄する保健所に応援に入りました。今回度重なる地震で大きな痛手を被り、未だ避難所生活を送っている方が多数います。宮城県は4月22日から1週間交替で多職種チームを派遣し、保健所支援を行っており、私(8班)が現地入りした頃は発災後39日目、被災地支援活動が収束されつつあり、活動の引継と通常業務再開が課題となっていました。

熊本県での災害は風水害中心で、地震は直近が平成12年に発生したM5.0の熊本地方地震で、被害も負傷者1名家屋一部損壊数軒です。経験したことの無い地震被害に対して、初動時より大災害の経験がある自治体や専門家チームが多数被災町に支援に入り、現地活動のコーディネートや被災者健康調査、避難所支援を展開。宮城県も段階にわたる災害対応活動と通常業務再開に向けて情報と課題整理をサポートしました。1週間は短く後ろ髪を引かれる思いもし、次へ引き継ぐ難しさも感じました。災害時は初動が大切。

宮城も東日本大震災で苦い思いとともに学びました。その後宮城・気仙沼の災害に対する備えは着実に進んでいるのか。復興の歩みを進めつつ経験から学んだことを活かし風化させずに、いざという時に地域住民の安全と命を守る活動が行えるよう力をつけ、気仙沼地域のつながる力を大切に、様々な健康課題に取り組んでゆきたいと考えています。



被災した熊本城 (筆者撮影)

小田の浜海水浴場で 7月23日(土)海開き

宮城県では、毎年海水浴場の水質検査をしています。今年も、気仙沼市内にある小田の浜海水浴場を含め、県内5箇所の海水浴場で、環境省が定める水浴場水質判定基準に基づいて検査を実施しました。

検査の結果、小田の浜海水浴場は、透明度が高く、油膜がないなど、水質もきれいで遊泳できる状態であることが確認されました。

小田の浜海水浴場は、今年7月23日(土)～8月25日(木)まで開設される予定です。



食中毒に気を付けましょう!

サルモネラ属菌や腸炎ビブリオ等の食中毒菌は口から体の中に入ると下痢や嘔吐等の症状を引き起こします。夏季は気温が高く、細菌が増えやすい季節なので、食中毒菌が付着している食品を食べると体調を崩すことがあります。そのため、食べ物は調理後すぐに食べることや、保存するときには低い温度に保つことが大切です。

気仙沼保健所では、食品衛生の普及啓発及び食中毒の未然防止を目的として今年7月8日に「食中毒予防キャンペーン」をデイリーポート及びイオン気仙沼店の入口で実施し、食中毒予防に関するパンフレットとうちわを配布して注意を呼びかけました。

なお、厚生労働省のホームページに食中毒に関する詳しい情報が掲載されています。「厚労省 食中毒」といったキーワードで、是非検索してみてください。



編集後記

早いもので、今年も半年が過ぎました。暑い日が続いていますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。猛暑が懸念されている今夏、食中毒や熱中症には気をつけて、楽しい夏をお過ごしください。(次号は9月の発行予定です。)

↓ご感想・ご意見等としどしお寄せ下さい! ↓
担当：気仙沼保健福祉事務所広報委員会
電話：0226-22-6661
メール：fukahire@pref.miyagi.jp